

学校だより 2月号じのしま

令和3年2月4日
宗像市立地島小学校
校長 秦 克伸



心に刻む 地島の時間

2月になりました。一つの節目が近づいています。
コロナ禍の下、様々な制約があり、我慢も強いられた一年でしたが、
できないことではなく、できることを考え、地島の時間を心に刻んできた子供達でした。
語り合い、笑い合い、励まし合い、時にはけんかをし合い・・・。

地島の「ひと・もの・こと」や友達とのかかわりは、子供達を成長させました。
一人ひとりの子供達が卒業式や修了式で、充実した一年だったと心から思えるように、
そして、4月からの新たな目標をもつことができるように、
限られた時間を最大限に生かしていきます。
子供達への応援、よろしくお願いいたします。

椿油ごはんづくり

1月15日(金)、「椿油ごはん」と「椿油を使った卵焼き」をつくりました。

総合の学習で学んできた「椿油」。

その製造方法やよさを学習した子供達は、今、パンフレットや宣伝のポップをつくっています。その学習に合わせて、実際につくって食べようという学習を行いました。



前田さん、山下さん、橋本さんに来ていただき、具材や味のつけ方を教えてもらいました。

子供達は、醤油や椿油の量や、どんなときに「椿油ごはん」を食べるのかなどたすね、地島で受け継がれている食文化の一端を知ることができました。

この学習のあと、実際に家で作ったという子供もいました。「地島の味」として、子供達の記憶に残るものでした。

「椿油を使った卵焼き」は、「サラダオイルの卵焼き」と食べ比べました。子供達の感想は「椿油の方が、甘くて卵の味がよくする。」とのことでした。

お世話になった、前田さん、山下さん、橋本さん、ありがとうございました。



地島文化祭～緊急事態宣言下で～

子供達は、地島文化祭に向けて、二学期から練習を続けてきました。

袖月さんや千紘さんは、文化祭がどんなものかを留学生に伝え、個人発表や全校発表の練習で、リーダーシップを発揮しました。

また、五人の留学生も、二人の思いを受けとめながら、自分の目標をもって、ひたむきに練習を重ねてきました。

そして、1月。第1回目のリハーサル(三線、けん玉、合奏)を行いました。子供達は、自分たちの発表を振り返り、「もっと～したい」「～がうまくいかなかったから、悔しい」など、現在の自分の到達点を確認し、新たな目標を設定していました。

このように子供達は文化祭を目指して、頑張っていますが、緊急事態宣言はたいへん重たいものです。また、島内にコロナウイルスを持ち込めば、学校も島のくらしも止まってしまいます。1月25日のPTA評議員会では、学校・保護者・地域の方で、文化祭について話し合い、現在、以下のように判断しています。

- 2月13日(土)は実施しない。
- 幼稚園行事の関係上、2月27日(土)は実施しない。
- 延期日は3月6日(土)、さらなる延期は3月13日(土)
- 参観については、感染症の流行状況から、今のところ、保護者・なごさ関係者のみ
※ 状況が大きく変化すれば、変更もあります。
その際は、各戸にお手紙等で知らせる。

2月の主な行事

- 2月 1日(月) ネットについての学習
委員会活動
- 4日(木) りくさんと在校生の交流
- 10日(月) チャレンジ玄海(～18日)
- 13日(土) 地島文化祭延期
- 15日(月) 通常通り登校
- 18日(木) 読書指導
ALT
- 22日(月) 委員会活動
- 25日(木) ALT
- 26日(金) お別れ遠足

3月の予定

- 17日(水) 卒業証書授与式
- 24日(水) 修了式・お別れ式

久しぶりの新1年生が楽しく小学校に通うことができるように、在校生7人が自分たちで計画し、りくさんをもてなそうとしています。その時の様子は、3月号で紹介します。

今年度、最後の「チャレンジ玄海」です。この一年間、子供達は「チャレンジ玄海」で、計画的に樹種的に学習する態度が一層身につけてきました。

例年は、島の外に出かけていましたが、このコロナ禍を考え、島の中での遠足を計画しています。留学生にとっても、島の子供達にとっても、地島を再発見するような遠足を計画しているところです。